

令和5年第7回常陸太田市議会定例会会議録

令和5年12月7日(木)

議事日程(第3号)

令和5年12月7日午前10時開議

日程第1 報告第24号ないし報告第29号

日程第2 議案質疑 議案第68号ないし議案第83号

本日の会議に付した事件

日程第1 報告第24号ないし報告第29号(報告)

日程第2 議案質疑 議案第68号ないし議案第83号(一括上程)

出席議員

7番	藤田謙二	議長	8番	深谷渉	副議長
1番	石川剛	議員	2番	根本仁	議員
3番	鴨志田悟	議員	4番	森山一政	議員
5番	小室信隆	議員	6番	菊池勝美	議員
9番	平山晶邦	議員	10番	益子慎哉	議員
11番	深谷秀峰	議員	12番	高星勝幸	議員
13番	成井小太郎	議員	14番	茅根猛	議員
15番	後藤守	議員	16番	高木将	議員
17番	宇野隆子	議員			

説明のため出席した者

宮田達夫	市長	田中慈和	副市長
滝陸美	教育長	綿引誠二	政策推進室理事
岡部光洋	総務部長	柴田道彰	企画部長
小又理恵	市民生活部長	中嶋みどり	保健福祉部長
岡田和也	農政部長	根本晋	商工観光部長
高橋学	建設部長	山口宏造	会計管理者
畠山卓也	上下水道部長	後藤一人	消防長
西野保	教育部長	榊一行	農業委員会事務局長
綿引久雄	秘書課長	富山晴美	総務課長
井坂光利	監査委員		

けれども、一般財団法人里美ふるさと振興公社、株式会社水府振興公社、常陸太田産業振興株式会社、この3団体でありますけれども、いずれの団体も、資料を見ますと、財政基盤が弱い、あるいは債務超過となる団体もあると。今後の組織の在り方、持続可能な運営ができる体制づくりに向けて、財政面を含めた早急な検討が必要な状況にありますと、このように書かれております。

そして、株式会社水府振興公社がアドバイザー会議の課題に挙がっており、5回この会議が持たれるということになっておりますが、既に10月2日から11月下旬に3回まで会議が進んでおりまして、令和6年2月中旬に、5回目の会議によって今年度中に方向性が示されると、このような予定となっております。第三セクターの基金を通じて地域振興を行うこととありますけれども、どのようなときにこの基金が運用されるのか、その点について伺いをいたします。

次に、議案第78号、ページ96になります。

自動運転EVバス車両購入の契約について、ここで3点伺います。

1点目は、随意契約で契約方法が行われておりますけれども、随契の場合には見積合わせ2回ということになりますが、1回目の見積合わせで提示された金額について伺います。

2点目に、契約の金額7,900万円が予定価格と同額であったということをごどのように捉えているのか、伺います。

3点目、これは車両の概要になりますけれども、97ページにあります。EVバス車両概要で、座席9名、立ち席2名、また、エンジン及び装備等説明がされておりますけれども、昨年度試乗したEVバスと自動運転能力に違いがあるのかどうか、この点について伺います。

以上で1回目の質疑を終わります。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。総務部長。

○岡部光洋総務部長 議案第68号常陸太田市第三セクター振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定についてのご質問にお答えいたします。

どのようなときに基金を活用するのかについてでございますが、本市の第三セクターにつきましては、観光や農業などの産業分野を中心とした地域の振興と活性化を目的に設立され、地域資源を活用した事業展開をしながら、地域の雇用の場を創出するなどの役割を担ってきたところでございます。

しかしながら、議案提案時にもご説明いたしましたように、本市の第三セクターはいずれも厳しい経営環境にもあり、今後の組織の在り方について、持続可能な運営ができる体制づくりに向けた検討も必要と認識しているところでございます。

こうした中、今回、一般会計への財源と区分をし、基金として積立てをいたしまして、第三セクターがその設立目的に沿った役割を担っていく上で、例えば、里美地区をはじめとする地域振興に向けた事業展開に財源が必要な場合や持続可能な運営体制を構築するための財源とする場合など、その目的に沿った活用をしてまいります。

続きまして、議案第78号自動運転EVバス車両購入の契約について、3点のご質問のうち、2点のご質問にお答えいたします。

1点目の、見積合わせで提示された額についてでございますけれども、1回目につきましては税

別7,188万6,364円で、税込みにいたしますと7,907万5,000円となりまして、予定価格を上回ったことから落札には至りませんでした。

続きまして、2点目のご質問、契約の金額7,900万円が予定価格と同額であったことをどのように捉えているのかについてでございますけれども、本市が把握しております実勢価格が反映されたものと受け止めており、結果として、予定価格と同額となったものと捉えてございます。

○藤田謙二議長 企画部長。

○柴田道彰企画部長 続きまして、昨年度の実証実験時の車両と購入車両の自動運転能力の違いについてのご質問にお答えをいたします。

自動運転能力につきましては、車両に自動運転に係る機能が全く導入されていないレベルゼロから、完全に自動化となるレベル5までの6段階に区分されておりまして、昨年度の車両はレベル3に該当するもので、特定された場所等において障害物の回避等を緊急時にオペレーターが行う運転操作を除き自動運転システムによる運転が可能な車両でありましたが、今年度購入予定の車両はレベル4に該当するもので、特定された場所等において、緊急時を含め、全ての運転操作を自動運転システムが行う車両となっております。

○藤田謙二議長 宇野議員。

○17番（宇野隆子議員） ご答弁いただきまして、ありがとうございます。

議案第68号についてですけれども、基金が……、先ほどご答弁にもありましたように、地域振興が持続的というような運営がやっぱりしっかり行われるように、今後、基金の活用、十分に効果的に役立ててほしいと、このことを要望したいと思います。

議案第78号の自動運転EVバス車両購入の契約、3点挙げましたけれども、1点目の随意契約ですけれども、これで見積額、税込みで7,907万5,000円ということで答弁がありましたけれども、7,907万5,000円という額は、10月の臨時議会での一般会計補正予算で、EV自動車購入ということで7,907万5,000円が計上されているわけです。そうしますと、普通は……、全く見積り出された額と同じなんですけれども、補正予算で出された額、これは当然、予定価格よりは金額が大きいわけですよ。でも、金額が大きいところへ持ってきて、どうしてこの1回目の見積合わせで、補正予算組んだ額と同じような額を提示するのかなと。これについては、私、企業さんがどのようなことでこういう金額を、予算と同額提示されたのかと非常に疑問に思ったんですけれども、これについてはどのように受け止められるのか。これ、あれですから、ヒアリングしておりませんが、もしお考えをお聞かせいただければと思いますけれども、いかがでしょうか。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。総務部長。

○岡部光洋総務部長 ただいまのご質問に回答をさせていただきたいと思っております。

企業さんのほうの札入れでございますので、こちらは企業さんのほうがどのような考えでということでは、私どものほうでは承知していないところでございます。

○藤田謙二議長 宇野議員。

○17番（宇野隆子議員） 分かりました。どうもこの7,907万5,000円というのは、前

に一度見たような額だなと思ったんですよ。それで、一般会計補正を見ましたらこの額と同額で、当然、これと同額を出せば予定価格をオーバーするのに、どうしてこういう金額を出したのかなと、この辺思ったものですから伺いました。

2点目、それから3点目については、ご答弁で分かりましたので、以上で質疑を終わりにいたします。ありがとうございました。

○藤田謙二議長 以上で質疑を終結いたします。

○藤田謙二議長 次に、議案第68号から議案第83号まで、以上16件については、議案等委員会付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

○藤田謙二議長 以上で本日の議事は議了いたしました。

次回は12月15日、定刻より本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時15分散会